

ランドスケープの新潮流セミナー

地域経営とランドスケープ

ケニアのランドスケープから豊かさを再考する

大自然が残り、日本とは大きく異なる生態系や文化を持つアフリカのケニア。私たちがあまり知らないそのランドスケープに反映されている、人々と自然の関係性を読み解いて、真に健幸であること、そして「豊かさ」に関する新しい発想を得られないだろうか。なかなか国境の行き来が自由に叶わないいまこそ、新鮮な知見や視点に触れることで、これからの地域のあり方を考えるうえでの刺激をもたらすようなセミナーとしたい。

Photo by Wataru Kagaya

2022 年

3 / 17
(木)

18:30 ~ 20:30
ZOOM を用いた遠隔講座
英→日同時通訳あり

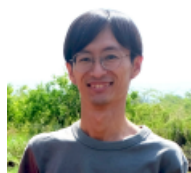
講演



コロナ禍のケニアで園芸とランドスケープの重要性を再考する

ジョン・ボスコ・ムクンディ ジョモ・ケニヤッタ農工大学ランドスケープ・環境科学研究科 准教授

1991 年エガートン大学農学部卒業、1998 年大阪府立大学農学研究科修士課程修了、2001 年同博士課程修了。2005 年より現職。生物多様性保全のためのランドスケープ計画・分析、植生再生技術などについて研究。



自然豊かなヴィクトリア湖畔で寄生虫症と共に生きる

加賀谷 渉 大阪市立大学大学院医学研究科 病院講師

東京医科歯科大学医学部卒業。同大学院博士課程修了後、2017 年から現職、ケニアならびにヴァヌアツのマラリアフィールド研究に従事する。2021 年 1 月からは JICA/AMED の SATREPS 事業のもと、ケニア・ホマベイ郡に長期滞在。



ケニア農村地域における植林活動実態

大藪 崇司 兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科 / 兵庫県立淡路景観園芸学校 准教授

京都市建設局での技術職勤務を経て、現職。都市域における緑地の創造保全および利活用に関して植物生理生態学の観点から調査。海外研究としては、主にケニア、カザフスタン、タイで緑化や植林に関する調査に取り組んでいる。

全体討論

総括：中瀬 勲 兵庫県立淡路景観園芸学校学長 / 兵庫県立人と自然の博物館館長

司会：新保 奈穂美 兵庫県立淡路景観園芸学校 / 兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科 講師



←お申込みはウェブサイト上のフォームから
<https://www.awaji.ac.jp/seminar>
お申込みを頂いた方に当セミナーの URL をお送りします。
(ZOOM のインストールが必要です)

参加費無料 要申込 ZOOM を用いた遠隔講座

お問い合わせ seminar@awaji.ac.jp